

基本目標・数値目標

(1) 新たな産業集積による雇用創出

■ 5年後の社会動態: +470人
(2014年 △115人)

(2) 創造交流都市としての拠点性を活かした交流人口の拡大

■ 5年後の観光入込客数: 2,000万人
(2014年 1,845万5千人),
延べ宿泊者数: 225万5千人
(2014年 214万6千人)

(3) ライフステージに応じた一貫した支援による少子化の克服

■ 住んでいる地域の子育て環境や支援の満足度を3.5に向上
(2013年度2.9, 5段階評価)
■ 夫婦が理想とする子どもの人数
(2.55)と実際にもつつもりの子ども
の人数(2.23)の差を縮小

(4) 地域力・市民力を活かした誰もが安心して暮らせるまち

■ 「住みやすいまち」と思う人の割合:
50% (2015年 31.5%)

主な重要業績評価指標(KPI)

新規立地に伴う新規雇用者数: 累計1,575人増
(直近5年平均 252人/年→315人/年)

新規就農者数: 毎年70人
(2014年 62人)

農業と他分野の連携プロジェクト数
※プロジェクト数は(仮称)12次産業化推進計画策定後に設定

地元大学卒業者の県内就職割合: 10%増
(2014年度 57.7%)

年間5,000人以上の集客がある市施設における
Wi-Fi整備率: 100% (2014年度 3.8%)

コンベンション等開催件数: 直近5年平均の10%増
(直近5年平均 212件/年)

出会いの場関連事業への参加者数: 37,000人
(2014年度 18,366人)

地域団体が運営に参画した放課後児童クラブ数: 20クラブ
(2014年度 3クラブ)

年次有給休暇取得率: 70%
(2014年度 37.4%)

新潟のよさを伝え、愛着を育む活動をした学校の割合:
100% (2014年度 100%)

地元大学への進学者の割合: 10%増
(2014年度 30%)

移住モデル地区指定数: 5年間で3地区
(2014年度 0地区)

空き家活用件数: 5年間で450件
(2014年度 77件)

地域の茶の間設置数: 537箇所
(2014年度 437箇所)

主な施策

ア 産業振興を通じた雇用の受け皿づくり

・優良企業の誘致, 航空機産業の育成, 農業における意欲ある多様な担い手の確保・育成, ニューフードバレーの推進, 12次産業化(農業と他分野の連携)の推進, 創業・起業の支援 など

イ UIJターン促進の環境づくり

・新潟暮らしの魅力発信, 女性や若者の就労支援, 移住者への就労・住まいに関するマッチング支援 など

ア 多様な来訪者の獲得

・食文化創造都市の推進, 東京オリンピックにおける「文化プログラム」の構築, MICE誘致活動の推進 など

ア 結婚・出産・子育ての希望をかなえるため, 切れ目のない支援を実施

・出会いの場づくりなどの実施, 妊娠・出産・産後の切れ目のない支援(新潟市版ネウボラ等) など

イ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

・企業のワーク・ライフ・バランス推進を支援, 男性の育児休業取得を支援 など

ウ 新潟らしい教育の推進

・食育・農業体験の推進, 中学・高校生へ新潟暮らしの良さをアピール など

エ 地元の大学等への進学, 地元企業への就職の促進

・新規大学設置等への支援, 地元大学等への進学時支援 など

ア 多様な生活環境を選択できる暮らし

・移住促進モデル地区への支援, アクティブシニアの移住支援(新潟市版CCRC等), 多世代交流の推進 など

イ 持続可能な公共交通のある暮らし

・新たな交通システム(BRT)の推進, スマートウエルネスシティの推進, リューとカードの多面的活用 など

ウ 魅力的なまちなかを感じられる暮らし

・花街文化を活かしたまちなみ整備, 新潟駅周辺地区の整備, 都心軸・萬代橋周辺エリアの賑わいづくり など